

平成26年5月19日  
東北農政局

「食料生産地域再生のための  
先端技術展開事業の概  
要について」

## 食料生産地域再生のための先端技術展開事業の概要

(H26年度予算額：24億円 事業実施期間：H24～H29)

### 背景

- 我が国の農林水産業・食品産業の体質強化のためには、産学官の総力を結集し、成長産業化に必要な先進的な技術開発・実用化・普及の戦略的推進が不可欠
- 東日本大震災の被災地の復興を加速し新たな食料生産基地として再生するため、これまでに蓄積されている多数の先端技術を活用し、その組合せを最適化し体系化した上で、普及・実用化を促進することが必要

### 研究方法

- 被災地域内に研究・実証地区を設定し、地域関係者と協力しつつ、我が国がこれまでに蓄積してきた先端技術の組合せを最適化し体系化するための実証研究を実施
- 実証研究で導入された個々の技術を体系化し、経営体単位で技術の導入効果を分析するとともに、分析・研究結果を全国へ発信することで技術の普及・実用化を促進

### 政策目標

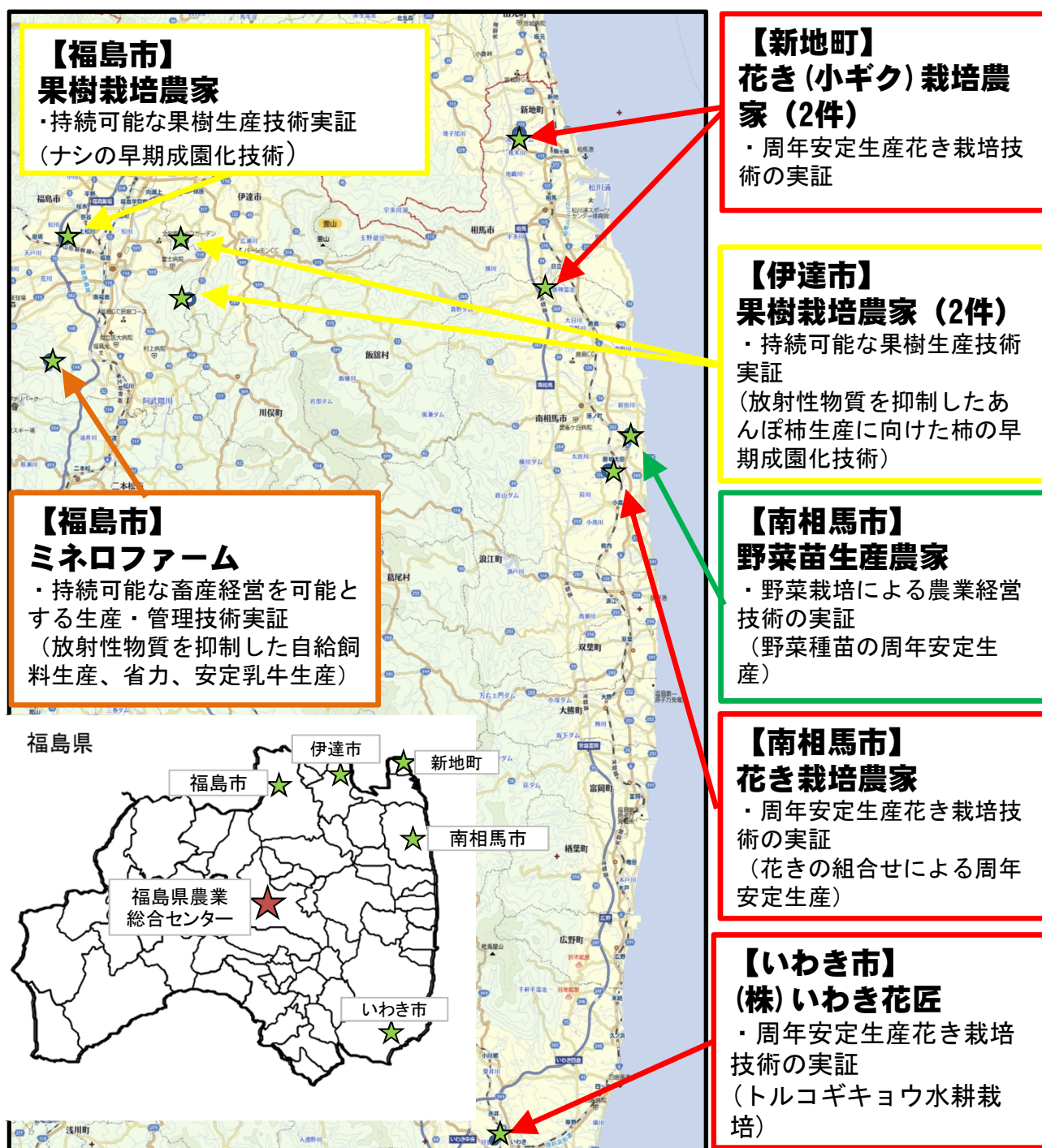
- 先端技術を用いた被災地の農林水産業の復興
- 技術革新を通じた成長力のある新たな農林水産業の育成
- 生産コストの5割削減又は収益率の倍増（H29年度）

## 福島県内での実証研究の状況

福島県内では、「花き」、「野菜」、「果樹」、「畜産」、「エネルギー・資源循環」の研究区分が設定。

「花き」では株式会社いわき花匠(いわき市)、JAそうまコギク部会(新地町)、花き栽培農家(南相馬市)、「野菜」ではJAそうま苗生産部会(南相馬市)等、「果樹」では福島市のナシ生産農家、伊達市の柿生産農家、「畜産」ではミネロファーム(福島市)、「エネルギー・資源循環」では川俣町内で実証研究を実施。

また、福島県農業総合センター内にオープンラボが設置されており、パネル展示等本試験研究の普及に向けた取り組みが開始。



# (福島県) 周年安定生産を可能とする 花き栽培技術の実証研究

放射性物質の影響が懸念される地域において、多様な経営体の収益向上に貢献する技術体系を構築するため、トルコギキョウ、夏秋小ギク等の安定生産技術の実証を行う。

## 内容

### 1. 大規模水耕栽培によるトルコギキョウの高品質周年生産システムの構築

- 人工光閉鎖苗生産システムによる苗生産技術の確立
- 高品質・効率生産のための栽培システム開発
- 切り花品質の一環管理体制の確立と需要動向解析



大規模水耕栽培  
実証ハウス(26.3  
時点)

### 2. トルコギキョウと低温開花性花きの組合せによる効率的周年栽培技術の確立

- トルコギキョウの夏秋期における省力安定生産技術の確立
- 低温開花性花き（カンパニユラ等）との組合せによる栽培体系の確立

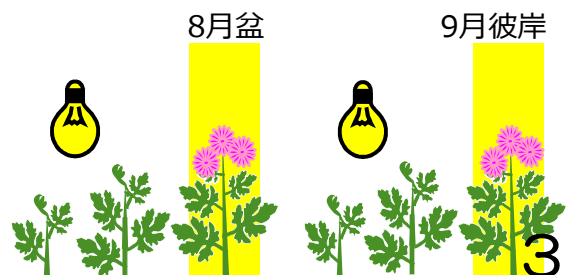
### 3. 露地電照栽培を核とした夏秋小ギク効率生産

- 露地電照栽培体系の確立
- 夏秋小ギク苗分業生産システムの構築
- 選花機による出荷調整の省力化



小ギク電照  
栽培

電照栽培による開花調節のイメージ



# (福島県) 野菜栽培による農業経営を可能とする 生産技術の実証研究

津波、原子力災害の被災地である福島県浜通り地域において、主要産業であった種苗生産を最先端地域産業として再発展させることにより地域農業を復興させるため、先端技術を導入した高付加価値苗、省力化苗、苗生産のリスクマネジメント確立の実証研究を行う。

## 内容

### 1. 人工光を用いた高品質野菜の実証研究

- 可視光LEDを用いた野菜苗の生育制御
- 紫外線LEDによるストレス耐性等付与の実証



上段: 赤白LED1次試作品、  
下段: 一般照明用白色LED

### 2. 化学農薬に頼らない病害虫フリー化技術実証

- 高濃度炭酸ガス、温湯ショック等によるストレス耐性付与の実証

### 3. 最適培地と養水分精密管理

- 肥料コスト削減のための野菜苗生産実証
- 均質な苗生産のための省力的苗管理技術の実証



実証地(南相馬市現況) 復興の足がかりに

### 4. 苗生産における放射性物質のリスクマネジメント

- 水中放射性物質のモニタリング、除去技術の実証
- 大気・土壌由来の放射性物質のモニタリング、除去技術の実証



浄化用カートリッジ



換気設備  
対応フイ  
ルター